

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学足立医療センター 栄養サポートチームでは、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 栄養サポートチーム介入時における Refeeding 症候群のハイリスク因子の検討

[研究対象者]

2021年4月から2023年3月の間に、東京女子医科大学足立医療センター、栄養サポートチームで栄養障害にて介入した方。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名

栄養状態評価：身長、体重、BMI (Body Mass Index)

血液生化学検査値：血清アルブミン値、血清リン値、血清カリウム値、血清マグネシウム値

薬剤の使用：インスリン製剤、制酸剤、利尿剤

その他：アルコール多飲歴、化学療法の有無

[利用の目的] (遺伝子解析研究： 無 )

栄養サポートチームで介入した栄養障害を有する方に対して患者背景（年齢、性別、既往歴、併存疾患）、血液生化学検査値（血清アルブミン値、血清リン値、血清カリウム値、血清マグネシウム値）、食欲不振と絶食に関わる因子（入院前と入院後の食欲不振及の有無、絶食期間（日）及び体重の変動率（%））、薬剤の使用因子（インスリン、制酸剤、薬剤の使用歴）及びその他因子（アルコール多飲歴、化学療法の有無）と Refeeding 症候群との関連を解析することで Refeeding 症候群のハイリスクとなる因子を解明することを目的としています。Refeeding 症候群とは慢性的に低栄養を有している方に過剰なエネルギーを急速に補給することにより生じる代謝合併症です。時に心不全、呼吸不全や神経障害を引き起こすことが知られています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2028年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学附属 足立医療センター外科 臨床栄養部 中畝 晋

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属 足立医療センター臨床栄養部 中畝 晋

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9時～16時）